

株式会社 トリケミカル研究所
第48期(2026年1月期)
決算説明資料

東京証券取引所
証券コード:4369

1. 2026年1月期業績

単位：百万円

	(ご参考) 25.1期	26.1期	増減額	増減率
売上高	18,905	23,883	+4,977	26.3%
営業利益	5,256	5,902	+645	12.3%
経常利益	6,583	7,090	+506	7.7%
当期純利益	4,961	5,515	+553	11.1%

期中に業績予想見直しも売上高・各利益とも過去最高
経常利益に持分法投資利益1,277百万円

単位：百万円

	26.1期末	(ご参考) 25.1期末	増減額
流動資産	23,253	21,456	+1,796
固定資産	24,021	15,488	+8,533
資産合計	47,274	36,944	+10,330
流動負債	7,604	4,182	+3,422
固定負債	3,520	1,174	+2,346
負債合計	11,125	5,356	+5,768
株主資本	35,125	30,748	+4,377
その他包括利益累計額	1,023	839	+184
純資産合計	36,149	31,587	+4,561
負債純資産合計	47,274	36,944	+10,330

主な増減要因

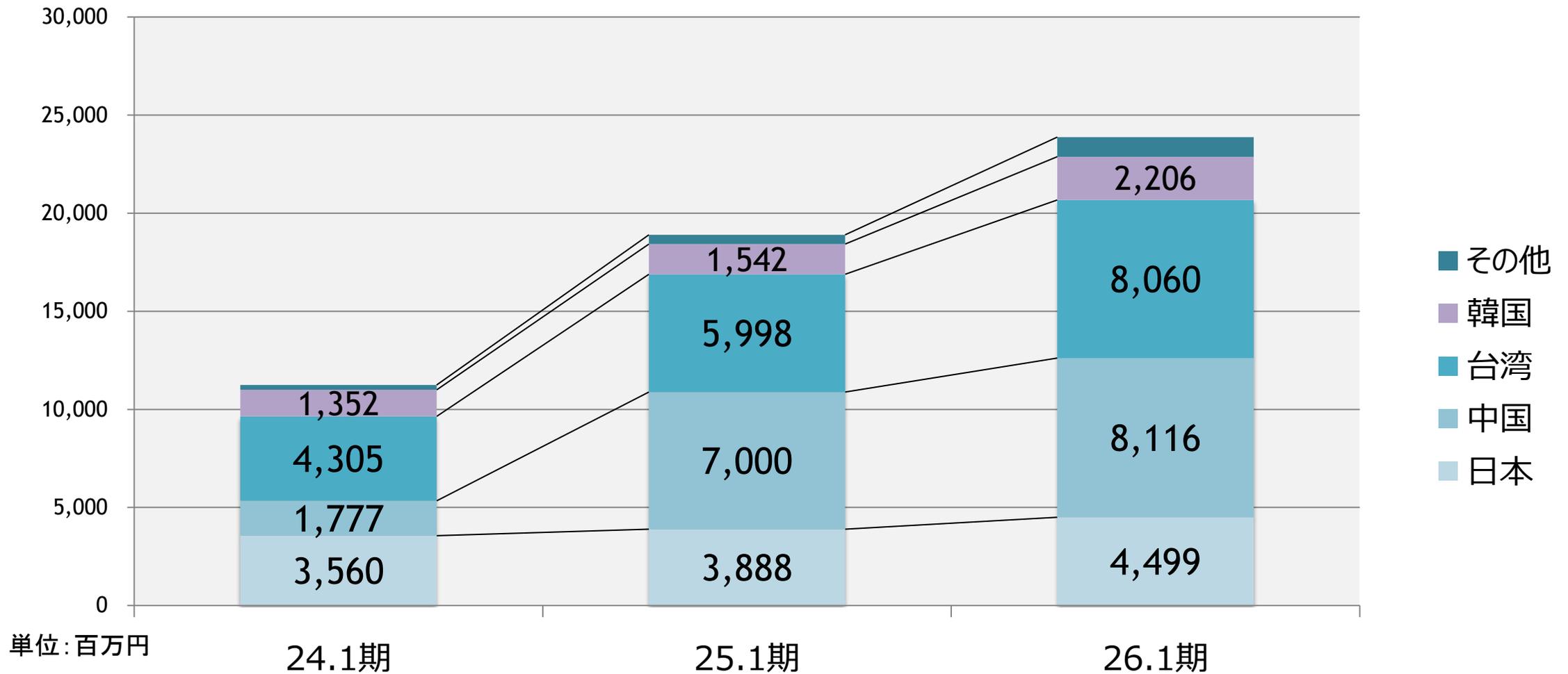
流動資産	棚卸資産の増加	+1,889
	売上債権の増加	+1,289
	現金及び預金の減少	-2,159
固定資産	南アルプス事業所等の設備投資に伴う有形固定資産の増加	+6,288
	持分法投資利益の計上等に伴う投資有価証券の増加	+2,216
流動負債	南アルプス事業所等の設備関連未払金の増加	+2,117
	買掛金の増加	+1,075
固定負債	長期借入金の増加	+2,359
純資産	純利益計上による利益剰余金の増加	+4,377

単位:百万円

	26.1期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,795
投資活動によるキャッシュ・フロー	-7,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,088
現金及び現金同等物の増減額	-2,159
現金及び現金同等物の期末残高	7,279

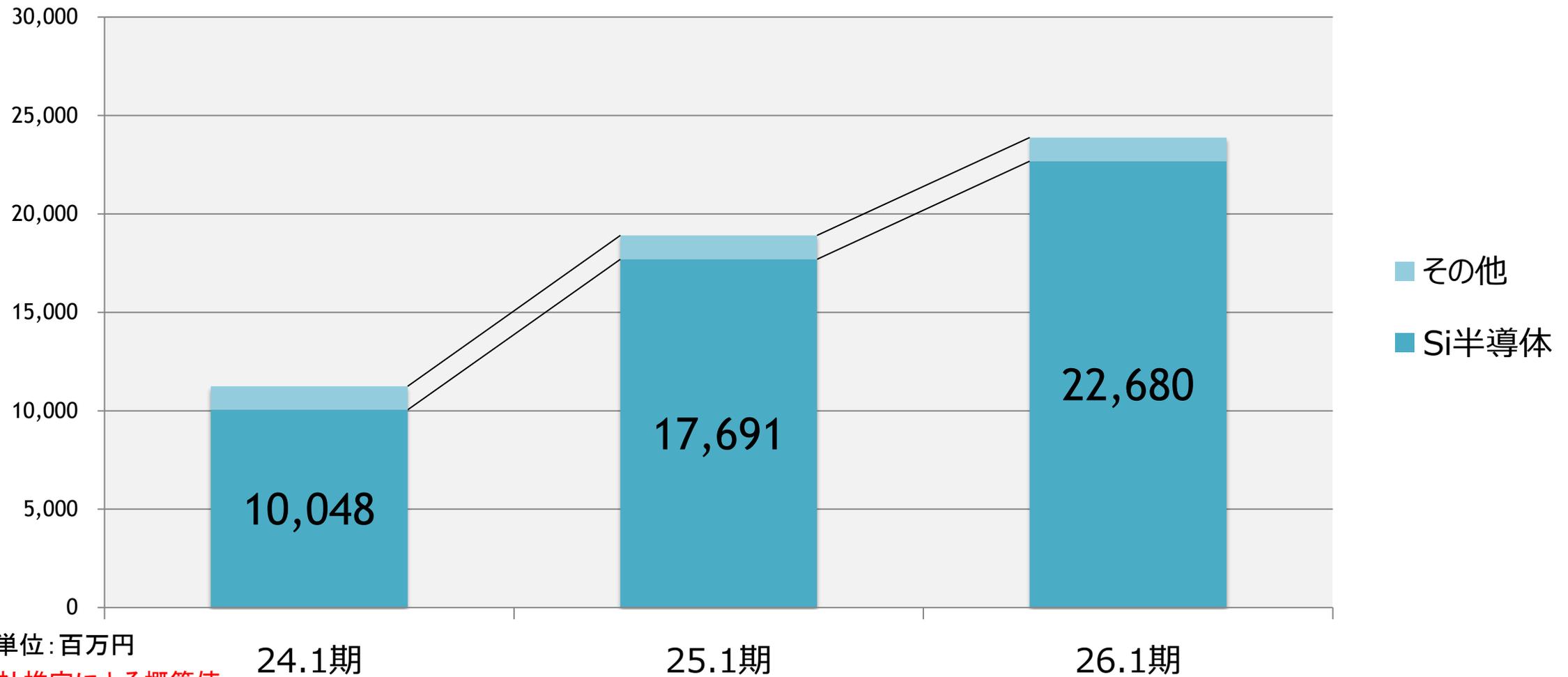
CFの状況

営業CF	税前当期利益計上	+7,090
	減価償却費計上	+1,917
	法人税等の支払額	-2,109
	棚卸資産の増加額	-1,878
	売上債権の増加額	-1,274
投資CF	有形固定資産の取得	-6,286
財務CF	借入金の返済・調達	+2,346
	配当金の支払額	-1,136



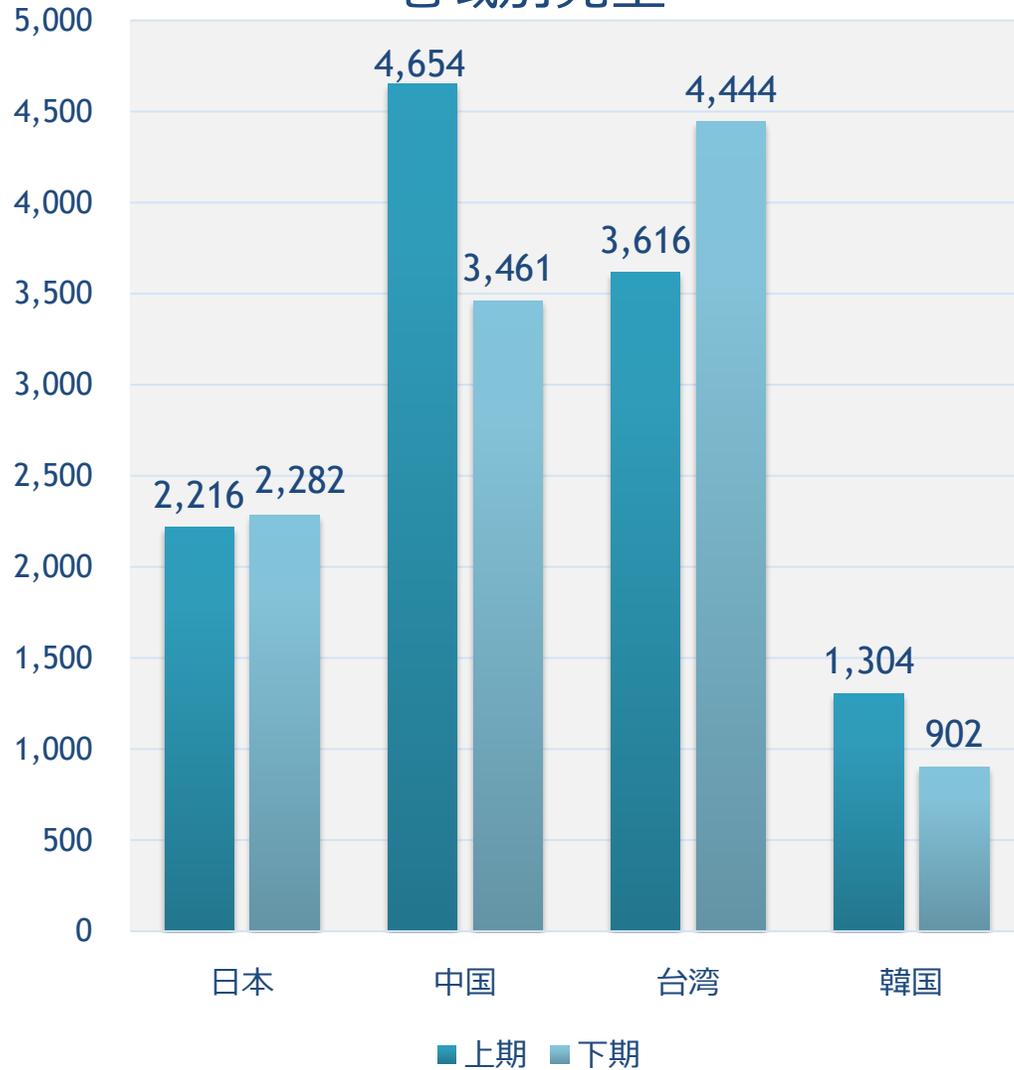
※当社推定による概算値

台湾向け大幅増、日本・中国向けも過去最高の水準



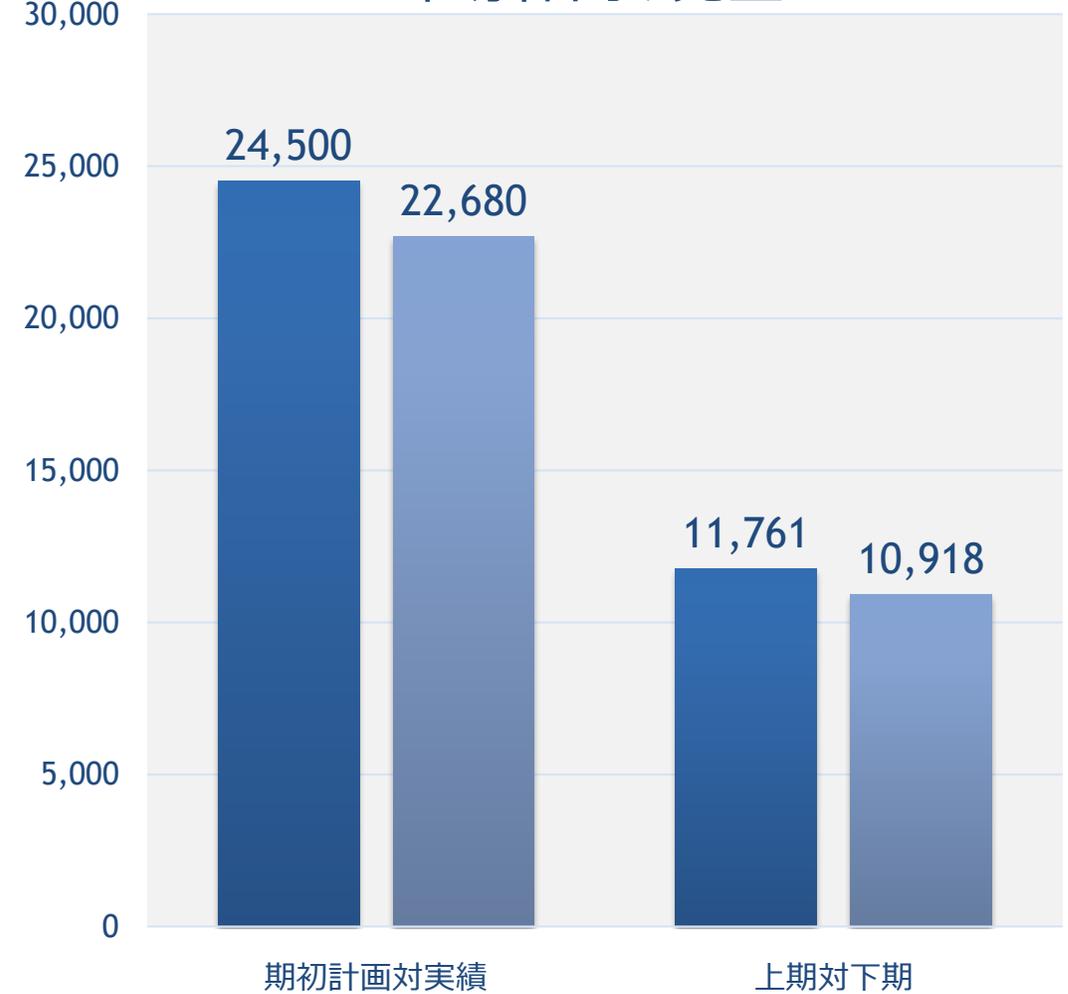
単位:百万円

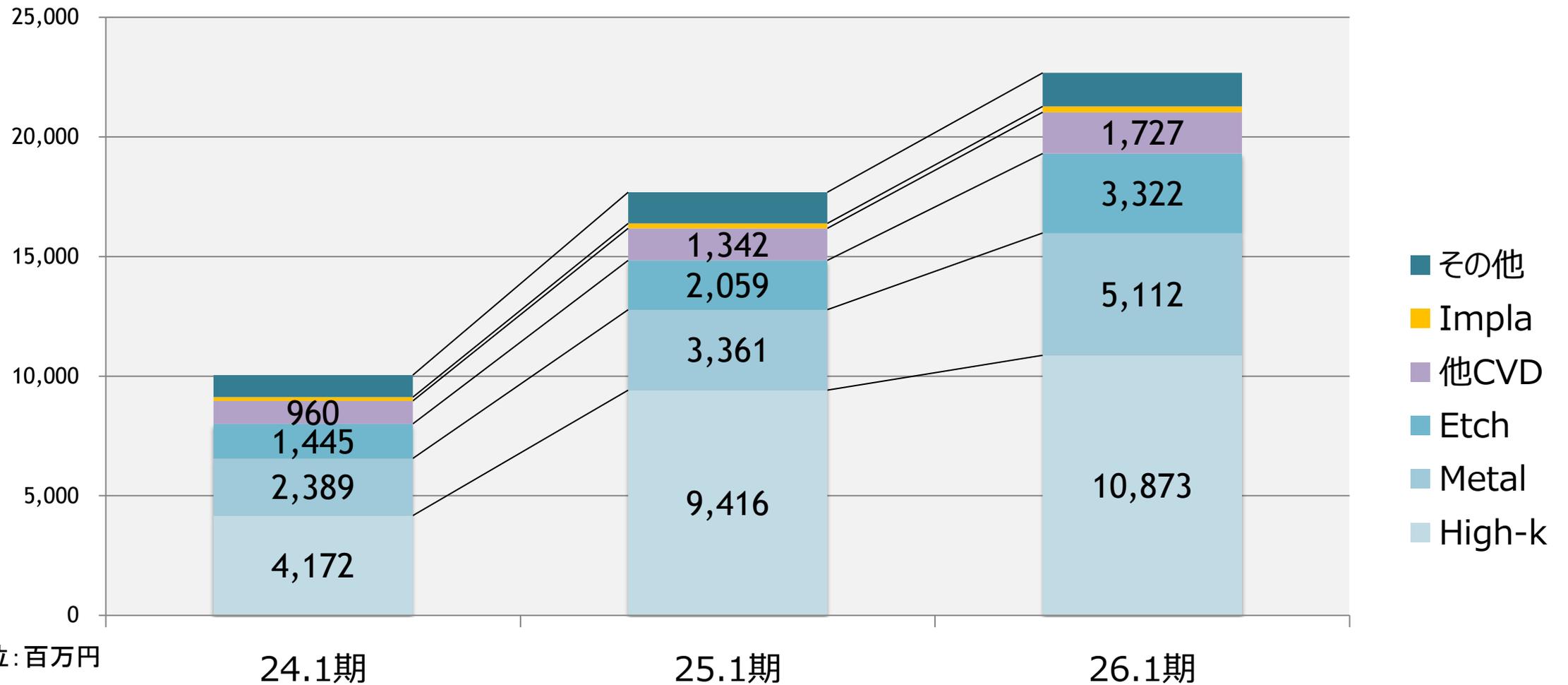
地域別売上



単位:百万円

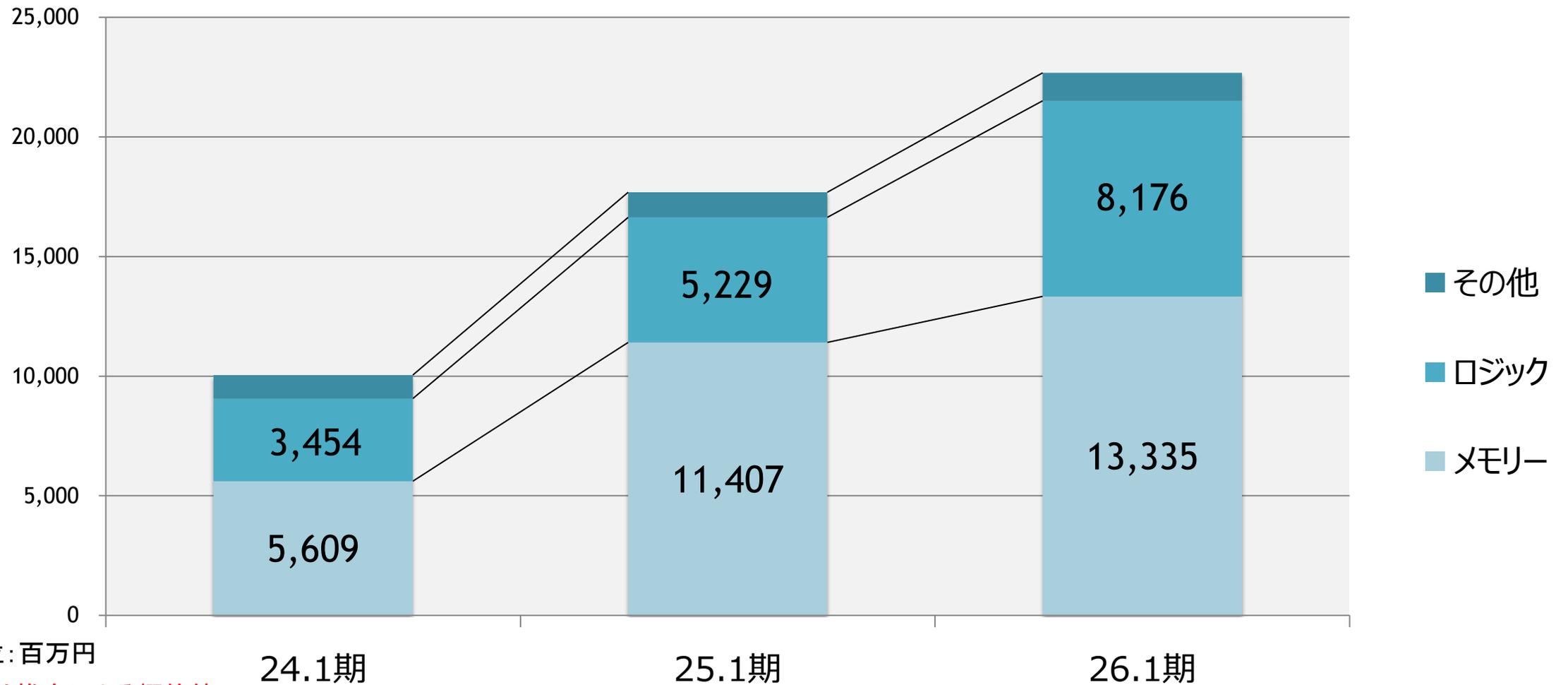
Si半導体向け売上



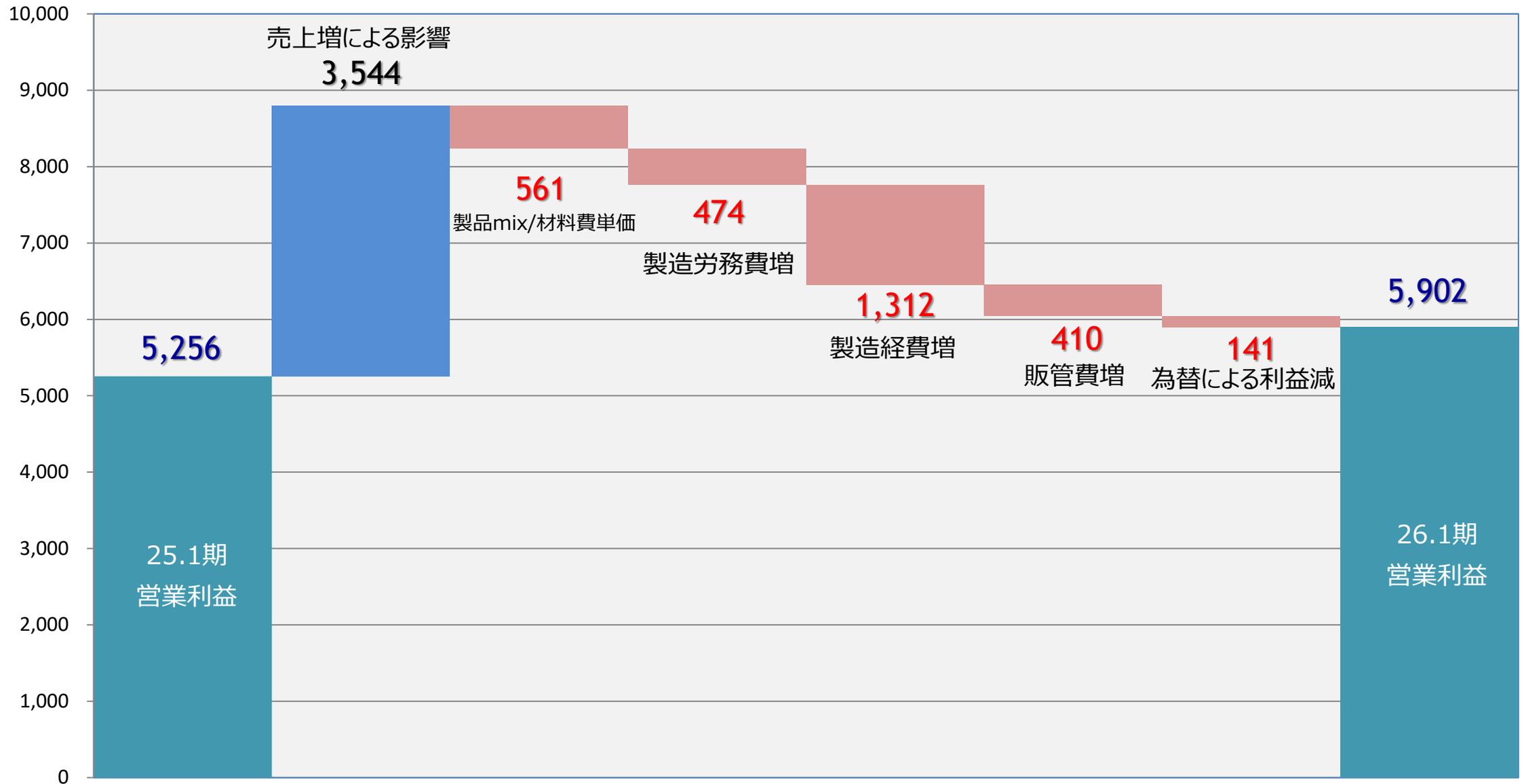


※当社推定による概算値

各製品群とも順調に推移



メモリー・ロジック向けともに過去最高を更新



※研究開発費振替前

単位: 百万円

2. 2027年1月期業績計画

単位：百万円

	26.1期実績	27.1期計画	増減率
売上高	23,883	27,000	13.1%
営業利益	5,902	6,000	1.7%
経常利益	7,090	6,300	-11.1%
当期純利益	5,515	4,600	-16.6%

為替は1米ドル = 150円に設定 (27.1期営業利益感応度は1円≒35百万円)

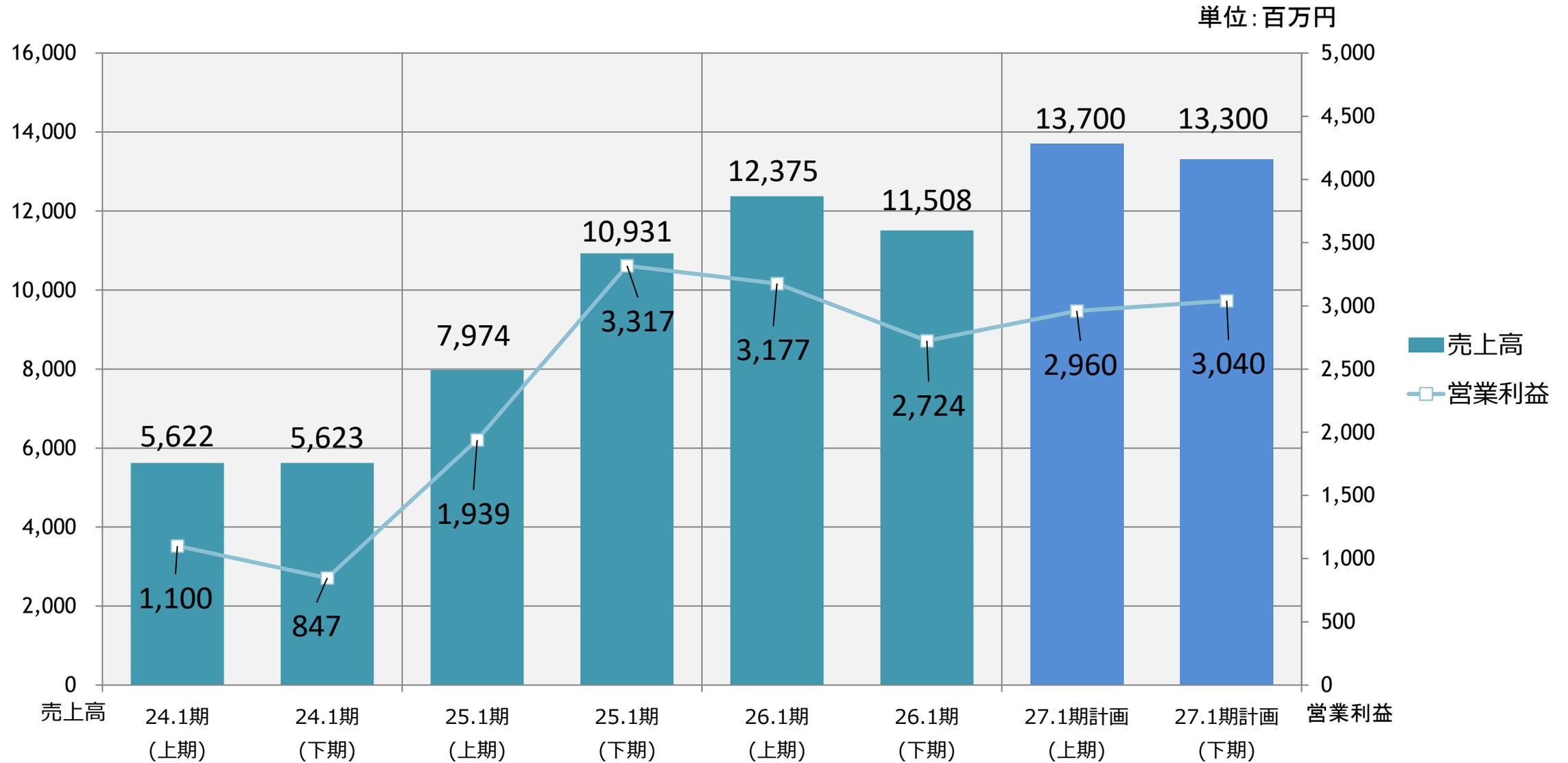
半導体の活況を受けた売上成長
SK Tri Chem持分法利益の減少影響(1,282百万円→400百万円)

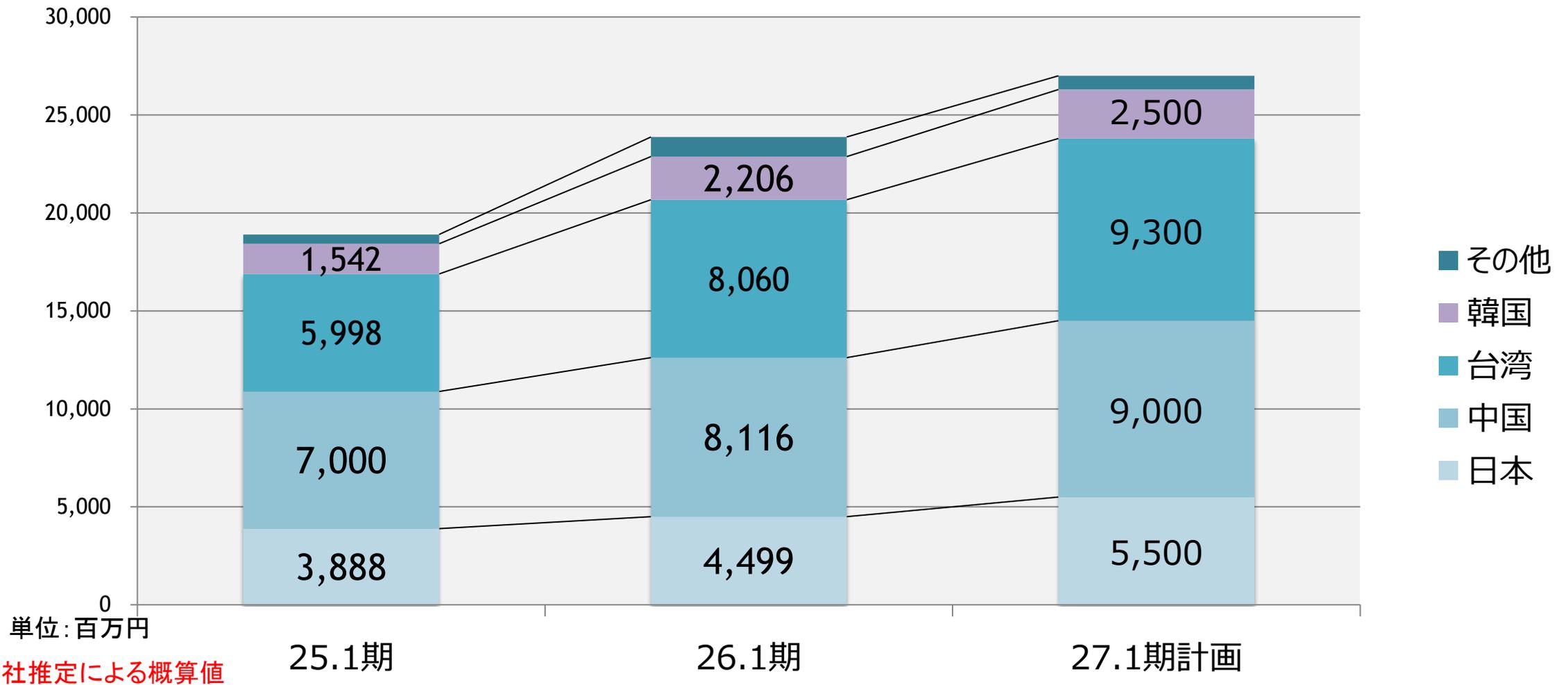
外部環境

- ロジック半導体向けはAI用途を中心に好調に推移
- DRAMは高稼働を継続
- NANDは既存製品の稼働は好調も新規投資は1年程度先送りの傾向
(各メーカーとも既存ラインの高稼働維持+DRAM中心に投資を注力)
- 原材料費の高騰の影響は継続
→SK Tri Chem社も材料高騰・販売単価下落等により減益見込み

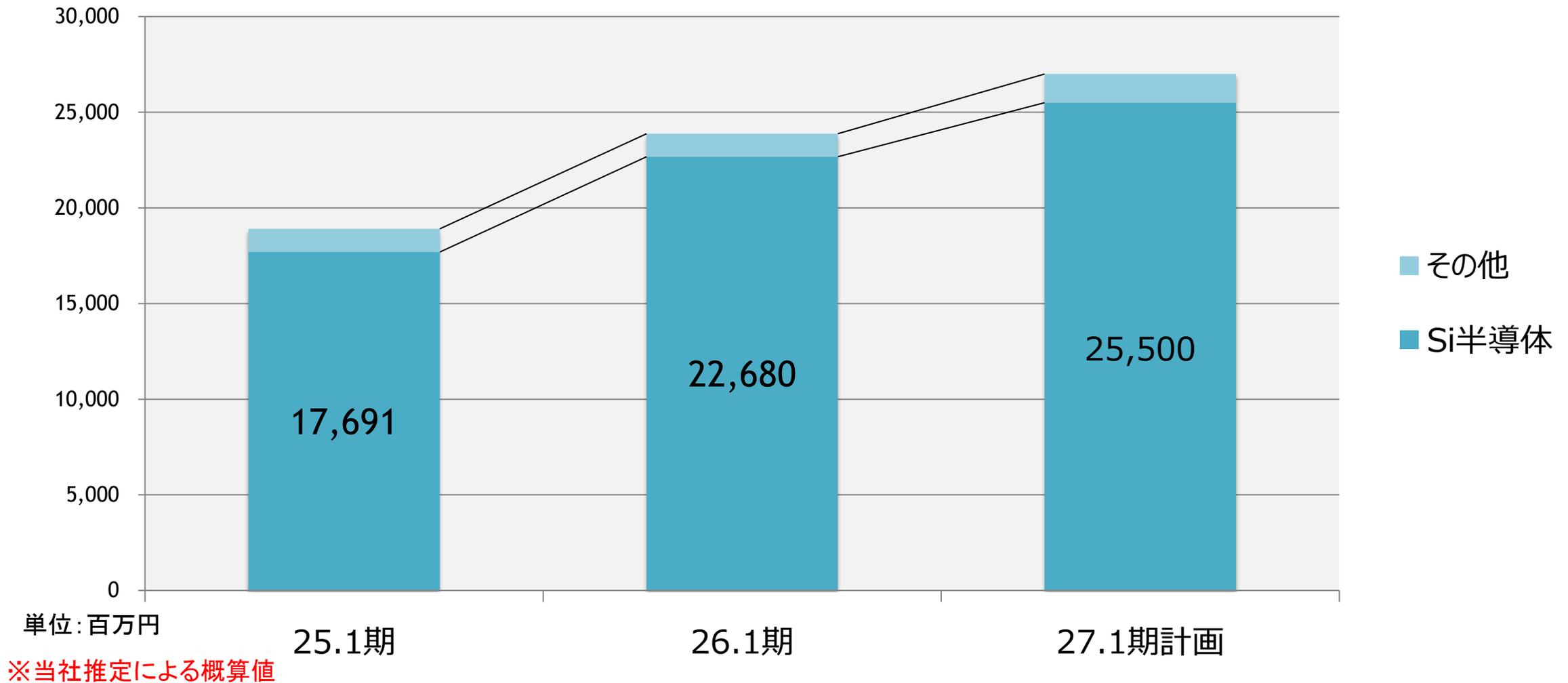
今期の取り組み

- 危険物製造棟を含む南アルプス事業所の稼働、能力向上
- 半導体・製造装置メーカー等と連携した次世代半導体向け材料の開発
- 生産の効率化、安全・品質管理の強化
- 台湾子会社の出荷増に向けた活動の継続

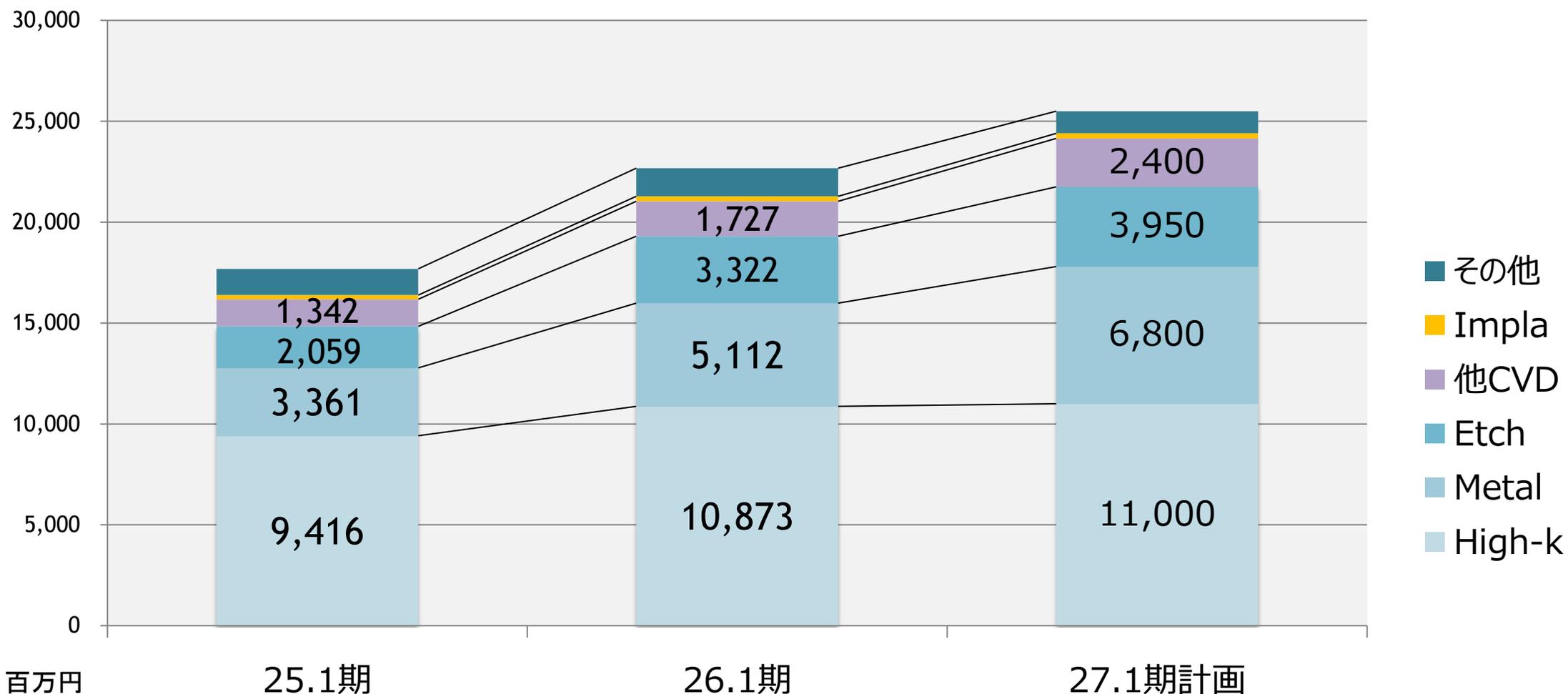




台湾ロジック向けを中心とした成長

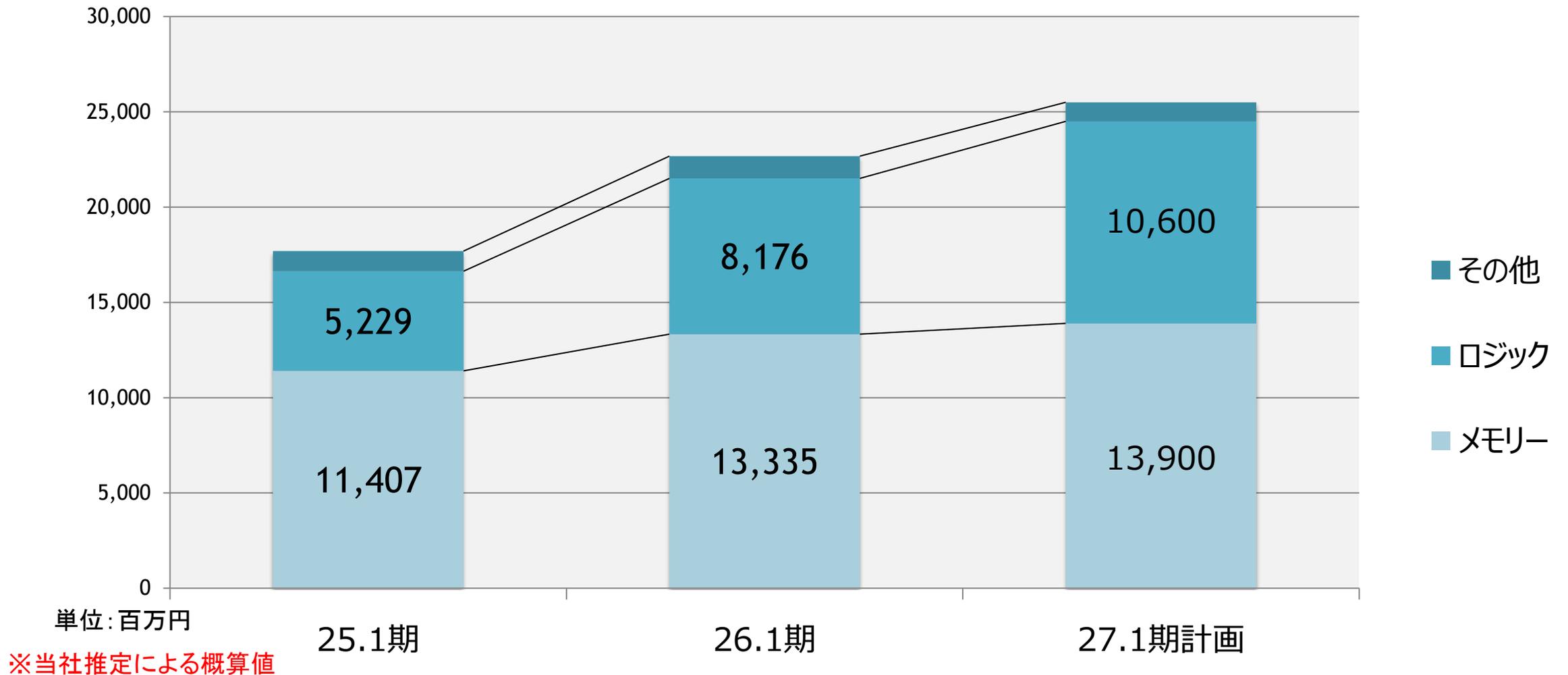


半導体向け材料はAIの活況を受け成長

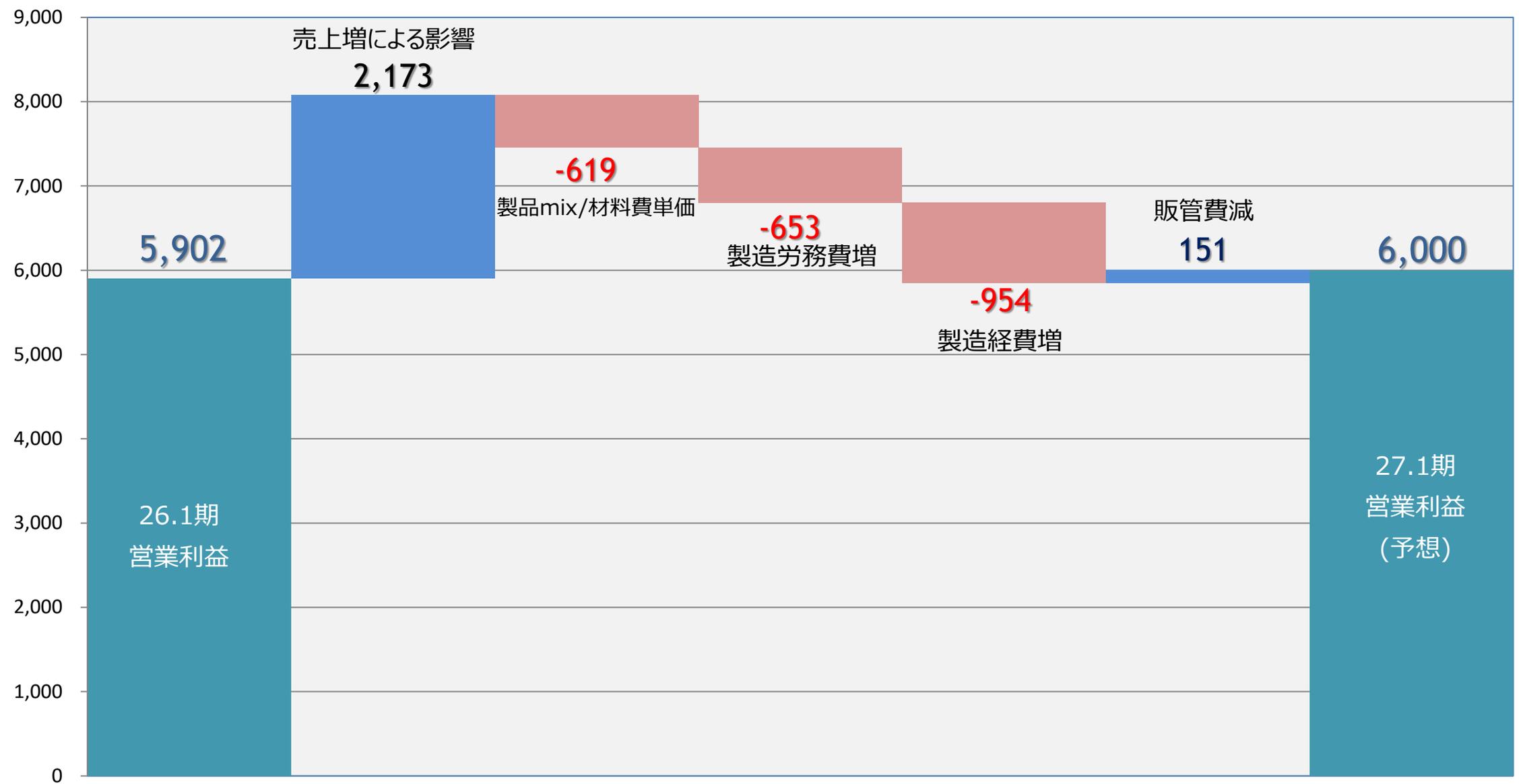


単位:百万円
 ※当社推定による概算値

AI需要を受けMetal材料・CVD系材料を中心に成長



ロジック向け材料の高成長を継続



※研究開発費振替前

単位: 百万円

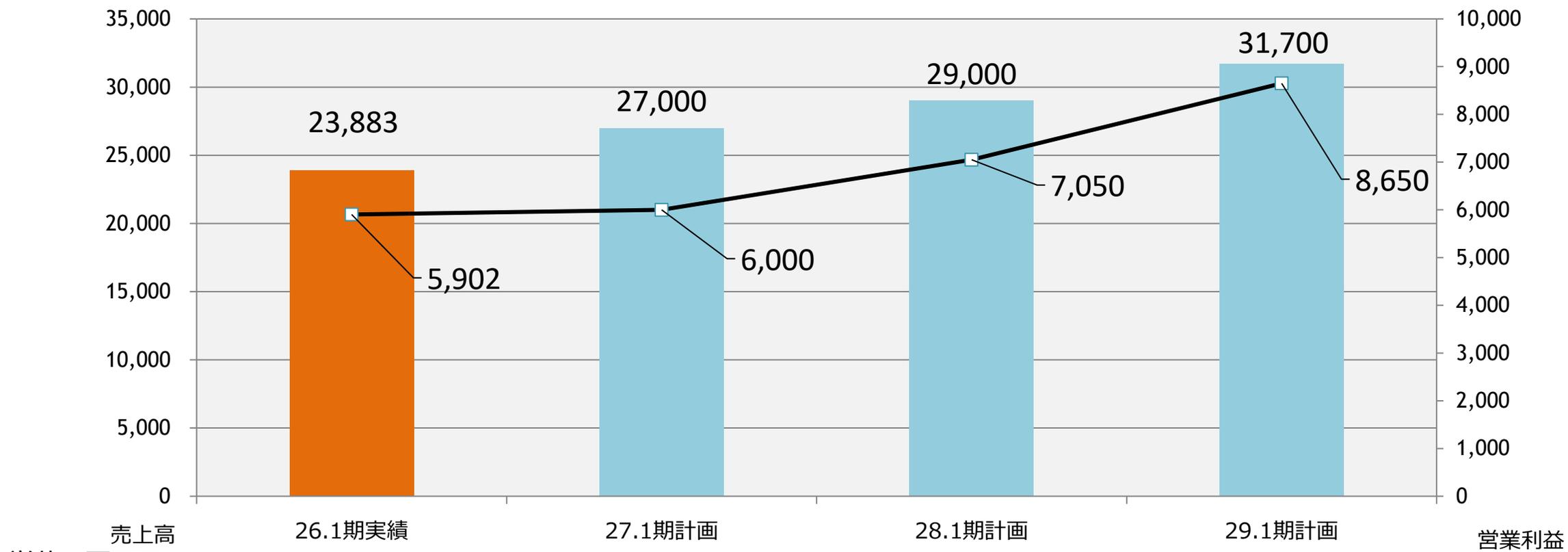
3. 中期経営計画

中期経営計画の前提

1. 半導体業界は概ね好調に推移
2. 為替は1米ドル = 150円に設定
3. 現時点で予測される購入・販売価格の変動は織り込み済み
4. 持分法損益 主要な関係会社の損益変動についてP25に記載
5. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	27.1期	28.1期	29.1期	3期合計
投資総額	4,475	3,078	4,735	12,288
償却費総額	2,479	2,865	3,243	—

6. 増員計画 2~30名程度/毎期の増員

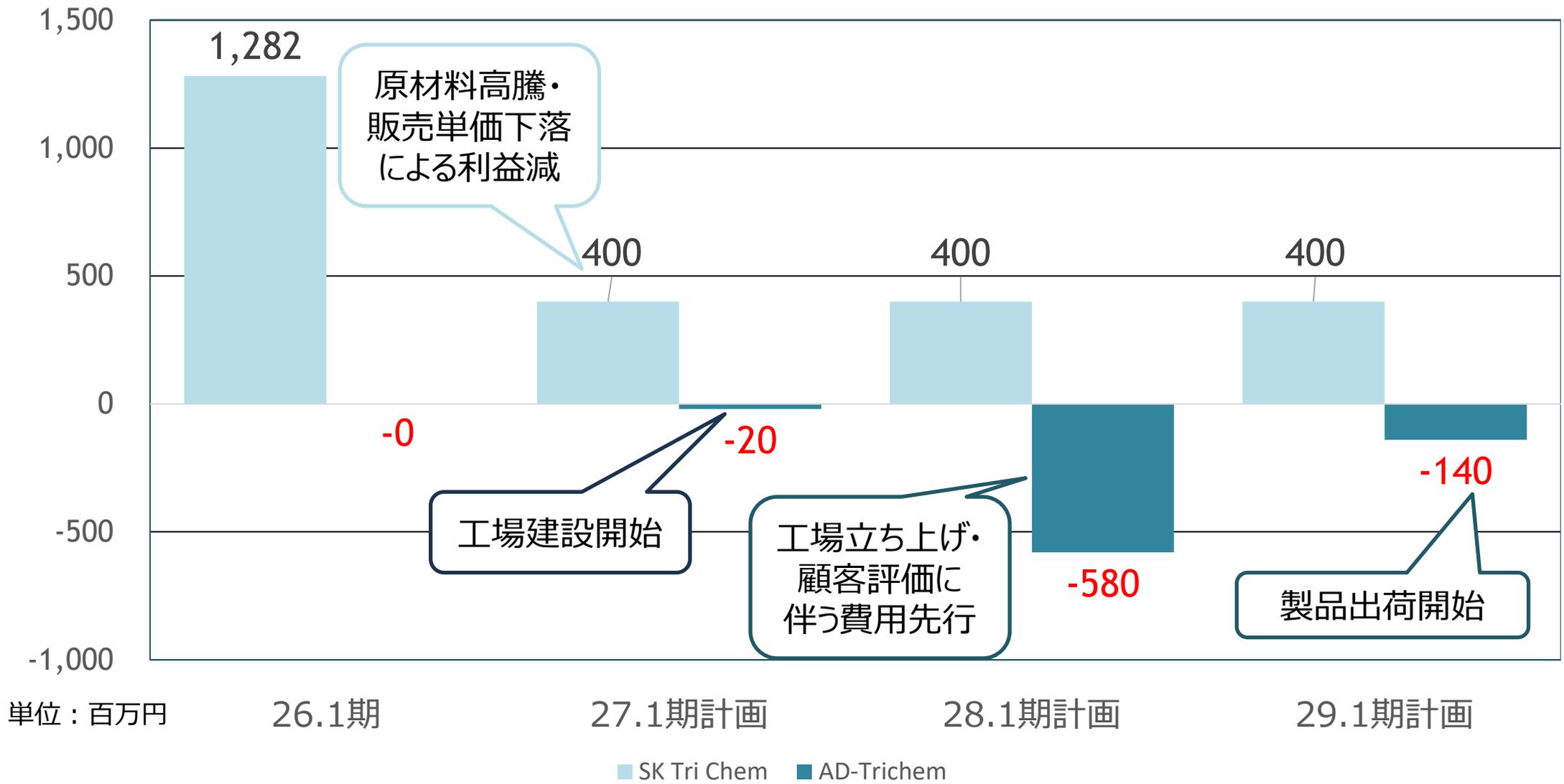


	26.1期実績	27.1期計画	28.1期計画	29.1期計画
売上高	23,883	27,000	29,000	31,700
営業利益	5,902	6,000	7,050	8,650
經常利益	7,090	6,300	6,800	8,830
当期純利益	5,515	4,600	4,600	6,120

	26.1期実績	27.1期計画	28.1期計画	29.1期計画
売上高	23,883	27,000	29,000	31,700
営業利益	5,902	6,000	7,050	8,650
売上高増加額	—	+3,116	+2,000	+2,700
売上高 営業利益率	24.7%	22.2%	24.3%	27.3%
ROE	16.3%	12.1%	11.1%	13.4%

単位：百万円

営業利益率25%程度の維持・回復を目標



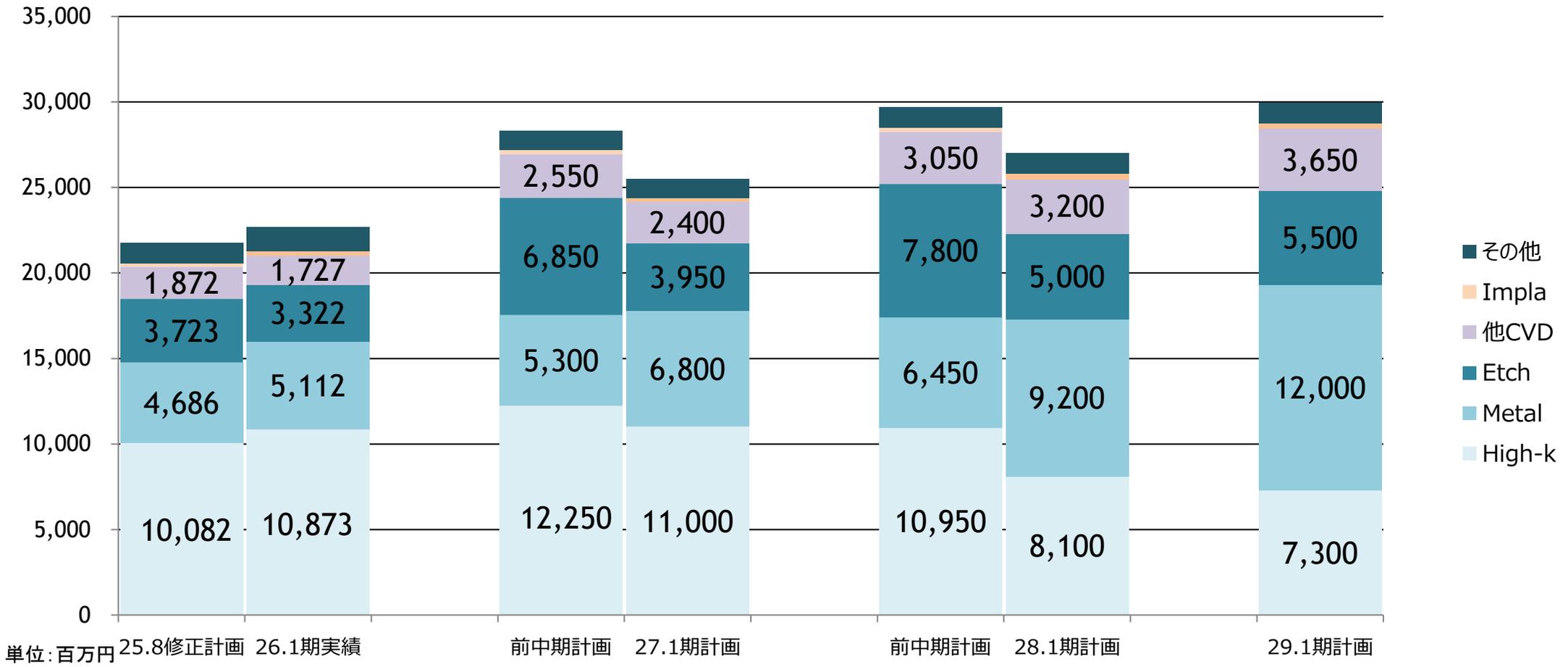
外部環境

- 既存ラインの高稼働もあり、次世代NAND投資は約1年ほど先送り傾向
- 中国DRAM向けは現地競合参入+当社関係会社へ一部移管
- ロジックは台湾・中国等で複数の新工場が稼働を開始

当社の取り組み

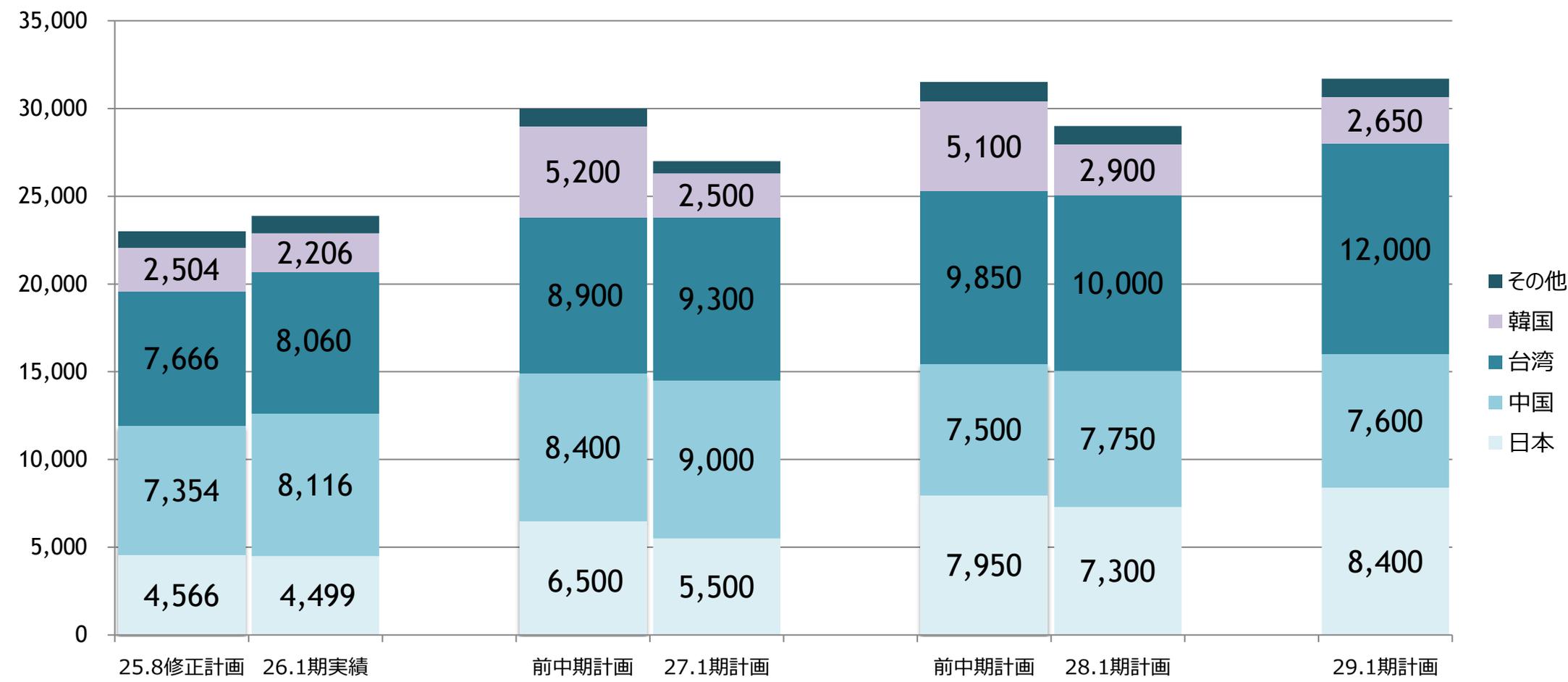
- グループにおける生産・開発能力向上を継続
 - ロジック向けMetal/High-k材料の生産能力向上・効率化
 - 先端NAND向け材料の量産体制構築
 - 安全・品質・環境・コスト管理体制の向上
 - 台湾子会社における生産強化
 - 半導体・製造装置メーカー等と連携した次世代半導体向け材料の開発

中期販売計画(Si半導体)※前中期計画との比較含む



エッチング材料の本格成長は後ろ倒し
ロジック向け材料(Metal・他CVD等)を中心とした成長

中期販売計画(地域別)※前中期計画との比較含む



単位：百万円

台湾・国内向け売上を中心に成長見込み

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。

あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問合せ先 : homepageinfo2@trichemical.com